

端午の節句は、古代中国において、月の初めの厄払い行事として生まれました。古代中国では、雨季を迎える5月は病気や災厄が増えることから、邪気を祓うために菖蒲を使用した行事があります。菖蒲の持つ強い香りが邪気を祓うとされていたため、邪気払いに菖蒲が使用されていたようです。

入居者の皆様も、喜んで入浴を楽しんで頂いた様子です。

